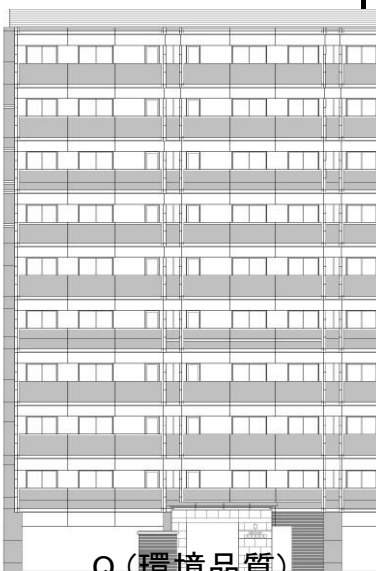


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)上熊本M新築工事	階数	10		
建設地	熊本市西区上熊本2丁目187-1の一	構造	RC造		
用途地域	準工業地域、市街化区域、準防火地	平均居住人員	60 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2015年10月8日		
敷地面積	1,491 m ²	作成者	原田 奈那子		
建築面積	407 m ²	確認日	2015年10月9日		
延床面積	2,652 m ²	確認者	伊東 正太郎		

1 CASBEE評価結果

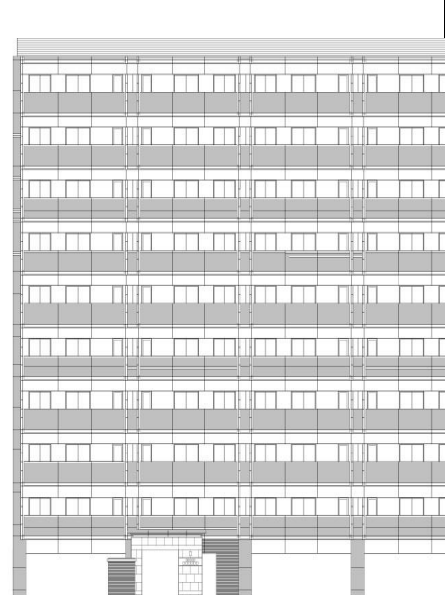
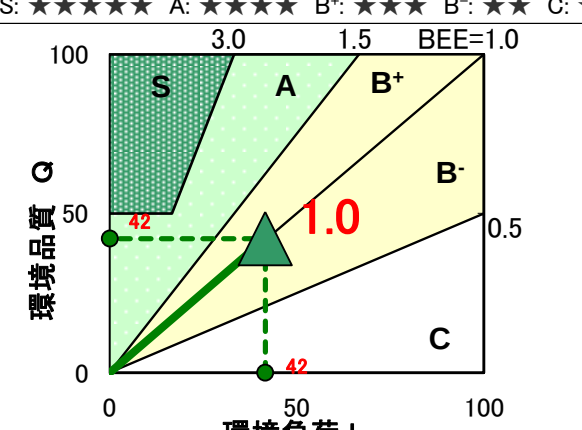
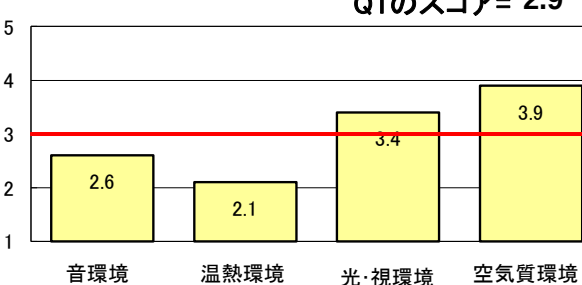
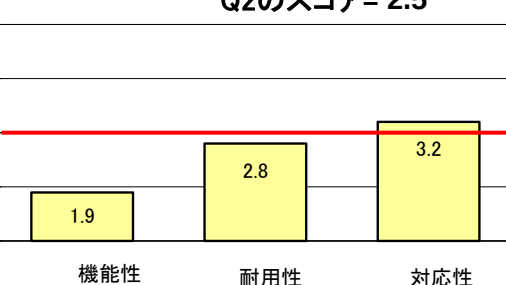
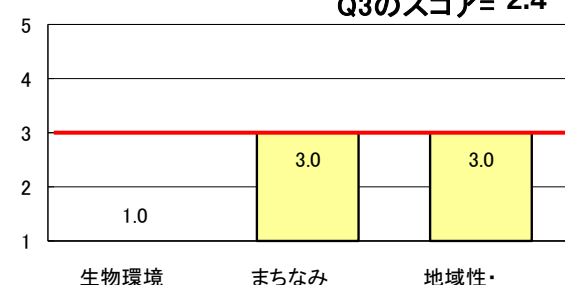
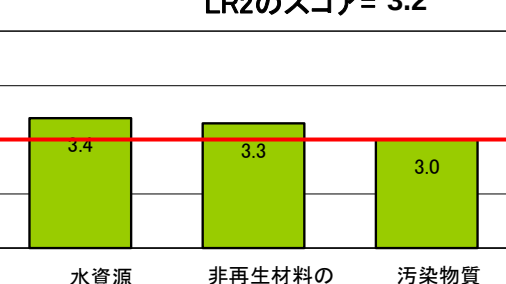
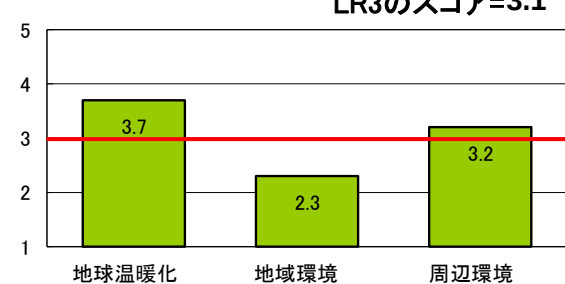
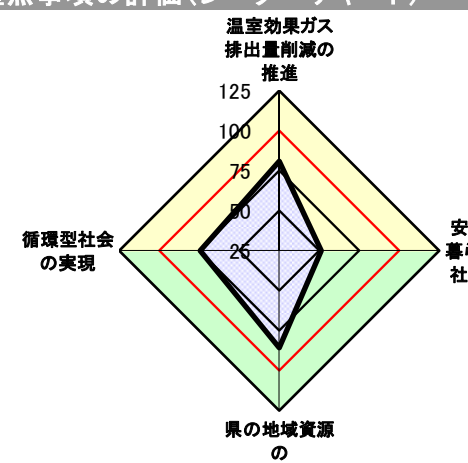
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																			
★ ★ ★ ★ ★		BEE = 1.0	BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																
100 50 0 環境品質 Q 3.0 1.5 BEE=1.0 環境負荷 L S A B⁺ B⁻ C 42 42 1.0		■ 環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																
			BEE値	Q値																															
S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																															
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																															
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																															
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																															
C	★	劣る	0.5未満	—																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率 81%																																	
☆ ☆ ★ ★ ★		■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																		
30%以下	☆☆☆☆☆																																		
30%超60%以下	☆☆☆☆																																		
60%超80%以下	☆☆☆																																		
80%超100%以下	☆☆																																		
100%超	☆																																		

2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価		評価点												
  		75												
	評価点	■熊本県重点評価基準												
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	80.9	<table><tr><th>判定値(評価点)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>100点以上</td><td></td></tr><tr><td>80点以上100点未満</td><td></td></tr><tr><td>60点以上80点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点以上60点未満</td><td></td></tr><tr><td>40点未満</td><td></td></tr></table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上	    	80点以上100点未満	   	60点以上80点未満	  	40点以上60点未満	 	40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上	    													
80点以上100点未満	   													
60点以上80点未満	  													
40点以上60点未満	 													
40点未満														
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	51.2													
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	85.7													
【重点事項4】 循環型社会の実現	74.5													
※評価点は、100点以上が推奨です。														

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観										
建物名称	(仮称)上熊本M新築工事	階数	10										
建設地	熊本市西区上熊本2丁目187-1の一	構造	RC造										
用途地域	準工業地域、市街化区域、準防火地	平均居住人員	60 人										
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年										
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価										
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2015年10月8日										
敷地面積	1,491 m ²	作成者	原田 奈那子										
建築面積	407 m ²	確認日	2015年10月9日										
延床面積	2,652 m ²	確認者	伊東 正太郎										
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)										
BEE =1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 			 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 <table><tr><td>①参照値</td><td>100%</td></tr><tr><td>②建築物の取組み</td><td>81%</td></tr><tr><td>③上記+②以外の</td><td>81%</td></tr><tr><td>④上記+</td><td>81%</td></tr></table> (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです			①参照値	100%	②建築物の取組み	81%	③上記+②以外の	81%	④上記+	81%
①参照値	100%												
②建築物の取組み	81%												
③上記+②以外の	81%												
④上記+	81%												
			Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境（敷地内） LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境										
2-4 中項目の評価(バーチャート)													
Q 環境品質													
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境（敷地内）									
Q1のスコア= 2.9 		Q2のスコア= 2.5 		Q3のスコア= 2.4 									
LR 環境負荷低減性													
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境									
LR1のスコア= 3.5 		LR2のスコア= 3.2 		LR3のスコア=3.1 									
3 熊本県重点評価結果													
重点事項総合評価			重点事項の評価(レーダーチャート)										
 評価点 = 75													
重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進						重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現							
 評価点 = 80.9						 評価点 =51.2							
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全						重点事項4: 循環型社会の実現							
 評価点 = 85.7			 評価点 =74.5										

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)上熊本M新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)		
スコアシート 実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.6
Q1 室内環境				0.40	-		2.9
1 音環境			2.0	0.15	2.8	1.00	2.6
1.1 騒音		騒音レベル 〈住居〉40dB(A)	3.0	0.50	4.0	0.50	
1.2 遮音			1.0	0.50	1.6	0.50	
1 開口部遮音性能			1.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能			-	-	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	1.0	0.20	
1.3 吸音			-	-	-	-	
2 温熱環境			1.0	0.35	2.4	1.00	2.1
2.1 室温制御			1.0	0.63	3.0	0.50	
1 室温			-	-	3.0	0.63	
2 外皮性能			1.0	1.00	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性			-	-	-	-	
2.2 湿度制御			-	-	3.0	0.20	
2.3 空調方式			1.0	0.38	1.0	0.30	
3 光・視環境			2.5	0.25	3.7	1.00	3.4
3.1 昼光利用		昼光率:3.0%(住居部)	2.4	0.30	3.4	0.50	
1 昼光率			2.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口			-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		住居部においては高い昼光制御効果が期待できる バルコニーと居住者によるカーテン設置	2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御			2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境			4.0	0.25	3.8	1.00	3.9
4.1 発生源対策		F☆☆☆☆以上	4.0	1.00	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策			-	-	-	-	
4.2 換気			-	-	3.6	0.38	
1 換気量			-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能			-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			-	-	3.0	0.33	
4.3 運用管理			-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2 喫煙の制御			-	-	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.5
1 機能性			1.6	0.40	2.0	1.00	1.9
1.1 機能性・使いやすさ			1.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性			-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応			-	-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画			1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3 内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務			-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震		B以上使用、E不使用	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.7	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔			2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			1.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-			
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-			
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-			
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-			
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-			
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.3	1.00	3.2		
3.1 空間のゆとり	3.1 空間のゆとり		階高2.91m	-	-	3.6	0.50			
	1	階高のゆとり		-	-	4.0	0.60			
	2	空間の形状・自由さ		-	-	3.0	0.40			
	3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50			
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-			
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-		2.4	
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-		1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0			
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0			
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-				
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3			
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5			
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0			
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0			
3 設備システムの高効率化			4.1	0.50	-	-	4.1			
集合住宅以外の評価(3a.3b)	集合住宅以外の評価(3a.3b)		1.0	-	-	-				
	集合住宅の評価(3c)		4.1	1.00	-	-				
	4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価	集合住宅以外の評価		-	-	-	-				
	4.1	モニタリング	-	-	-	-				
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-				
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-				
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-				
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2			
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4			
1.1 節水	1.1 節水		4.0	0.40	-	-				
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-				
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-				
2	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-				
	2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3		
2.1 材料使用量の削減	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-				
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-				
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-				
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-				
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-				
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.22	-	-				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0			
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-				
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-				
	1	消火剤	-	-	-	-				
	2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-				
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-				
	LR3 敷地外環境			-	0.30	-		-	3.1	
1 地球温暖化への配慮			排出率が81%	3.7	0.33	-	-	3.7		
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3			
2.1 大気汚染防止	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-				
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-				
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.3	0.25	-	-				
	1	雨水排水負荷低減	-	-	-	-				
	2	污水处理負荷抑制	3.0	0.33	-	-				
	3	交通負荷抑制	3.0	0.33	-	-				
	4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.33	-	-				
	3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-		-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-				
	1	騒音	3.0	1.00	-	-				
	2	振動	-	-	-	-				
	3	悪臭	-	-	-	-				
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-				
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-				
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-				
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-				
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-				
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-				
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-				
	光害対策ガイドライン、広告物照明の取扱いの過半を満足									

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周辺環境に配慮した外観デザインにします。

Q1 室内環境

開口の広い窓を採用し、風の通り抜けも考慮し採光・通風を確保します。
使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止するように努めます。

Q2 サービス性能

主要内装仕上材や空調、給排水配管は耐用年数が長いものを使用します。

Q3 室外環境（敷地内）

周辺景観に配慮した、外観デザインとしました。

LR1 エネルギー

設備システムにおいて、効率の良いものを採用します。
LED照明を取り入れ、省エネに配慮します。

LR2 資源・マテリアル

節湯水洗や節水型便器等を採用し水資源の保護に努めます。
分別しやすく、交錯しないようなGL工法の採用をしています。

LR3 敷地外環境

光害対策のために広告用照明の設置を行いません。また、駐車場と駐輪場を敷地内に設け、周辺の交通負荷の抑制に努めます。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)上熊本M新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		75
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				80.9	0.40	32.36
Q1-2.1.2	外皮性能	2.6	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.6	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.1	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				51.2	0.20	10.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				85.7	0.20	17.14
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29			
LR2-1.1	節水	4.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				74.5	0.20	14.90
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.7	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数